

### (3) 歩行者交通量等調査結果

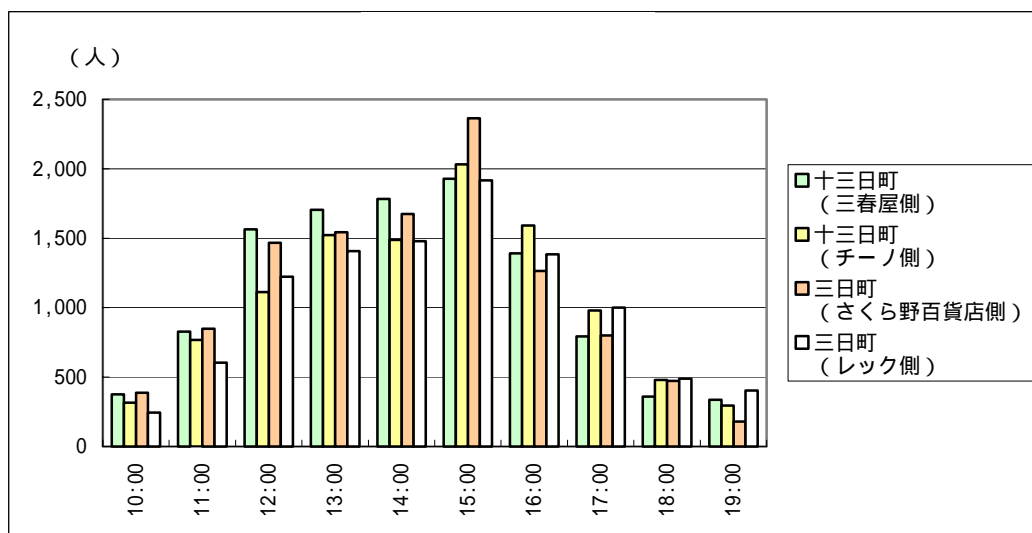
- ・歩行者交通量については、下記の図にあるように十三日町の間あたりに2ヶ所、三日町の間あたりに2ヶ所の計4ヶ所において計測を行った。計測は毎時15分間計測し、その数字を4倍し1時間あたりの交通量とした。計測を行った日時は、各実験ケースそれぞれ1日ということで、2章のスケジュールにある調査日4日間(9月25日、26日、28日、29日)について、10時から20時までの10時間、計測を行った。
- ・また、平常時の交通量を把握するために実験期間終了後、計測を行なった。
- ・座っている人の調査については、毎時30分に調査員が区域(十三日町、三日町の道路空間をそれぞれ2つの区域に分割、合わせて4区域設定)を一回りし、その時点でイス等に座っている人をカウントした。計測を行った日時は歩行者交通量と同じである。



#### 1) 歩行者交通量の状況

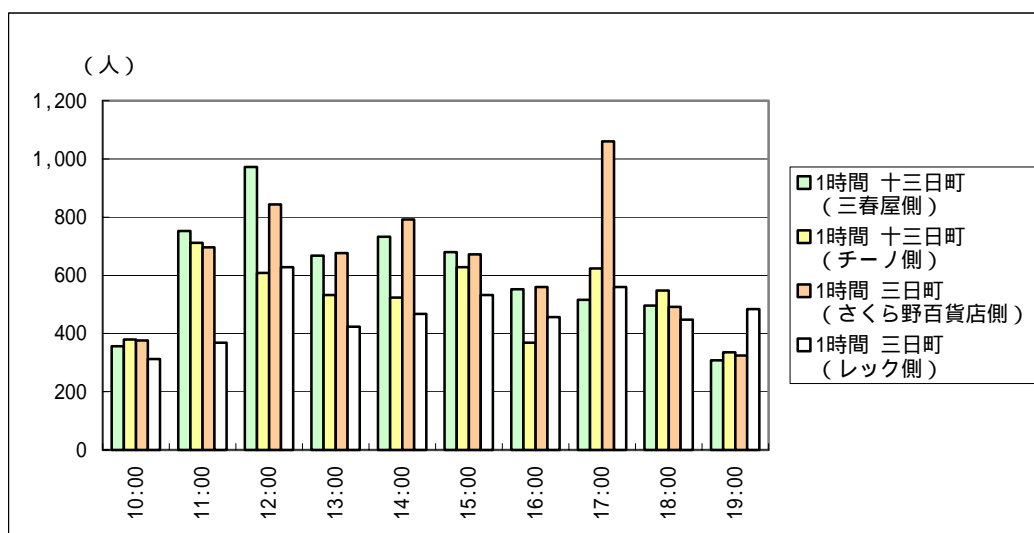
実験1(調査実施日:9月25日)

- ・9月25日は全車両の通行規制を11時~19時まで行い、その間の12時~18時に渡って大道芸などのイベントが行われており、通常の日曜日よりも人出が多い日となっている。
- ・天候は曇りが基本で時々雨が降る天候となった。
- ・イベント時間中の歩行者交通量は非常に多く、1時間の断面交通量を見ると12時台から16時台までいずれのポイントにおいても1000人を超える交通量となっている。
- ・最も交通量が多くなった時間帯は15時台でいずれのポイントにおいても2000人程度の交通量となっている。
- ・全10時間の交通量では、十三日町の三春屋側では約1.1万人、チーノ側では約1万人、三日町のさくら野百貨店側では約1.1万人、レック側では約1万人といずれのポイントにおいても1万人を超える交通量となっている。
- ・平常時の交通量と比較すると倍近くの増加となっており、また、参考として示した過去の歩行者交通量の計測結果と比較してみても、平成16年や平成15年の調査と比較してかなりの増加となっており、フルモール及びイベントの効果が見てとれる。



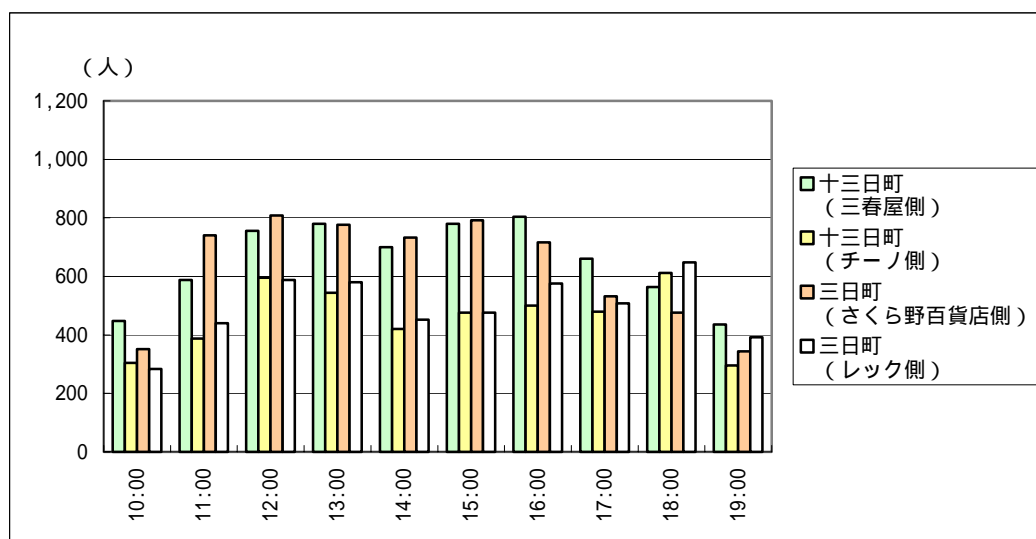
実験 2 (調査実施日 : 9 月 26 日)

- ・ 9 月 26 日は 3 車線の道路のうち、1 車線を閉鎖し 2 車線とした。規制の時間はフルモール時と変わらず、11 時～19 時とした。閉鎖した 1 車線にはテーブルとイスを並べオープンカフェとしてのしつらえを行った。
- ・ 天候は曇りが基本で肌寒い天候となった。
- ・ 十三日町の三春屋側では、12 時前後が最も交通量が多く、ピーク時に約 970 人の交通量が発生している。また、全 10 時間の交通量は約 6000 人となっている。
- ・ 同じく十三日町のチーノ側でも 12 時前後が最も交通量が多く、ピーク時で約 700 人の交通量が発生している。また、全 10 時間の交通量は約 5200 人となっている。
- ・ 三日町のさくら野百貨店側では、17 時台が最も交通量が多く、この日唯一 1000 人を超える交通量となっている。また、12 時台もそれに次いで交通量が多くなっている。また、全 10 時間の交通量は約 6500 人となっている。
- ・ 三日町のレック側では、12 時台が最も交通量が多く、約 630 人の交通量が発生している。また、全 10 時間の交通量は約 4700 人となっている。
- ・ 平常時の調査と比較すると、三日町のさくら野百貨店側を除き、歩行者交通量が減少している。また、過去の歩行者交通量と比較してみると、十三日町の三春屋側を除いて平成 16 年の結果よりも増加している。



実験3 - 1 (調査実施日: 9月28日)

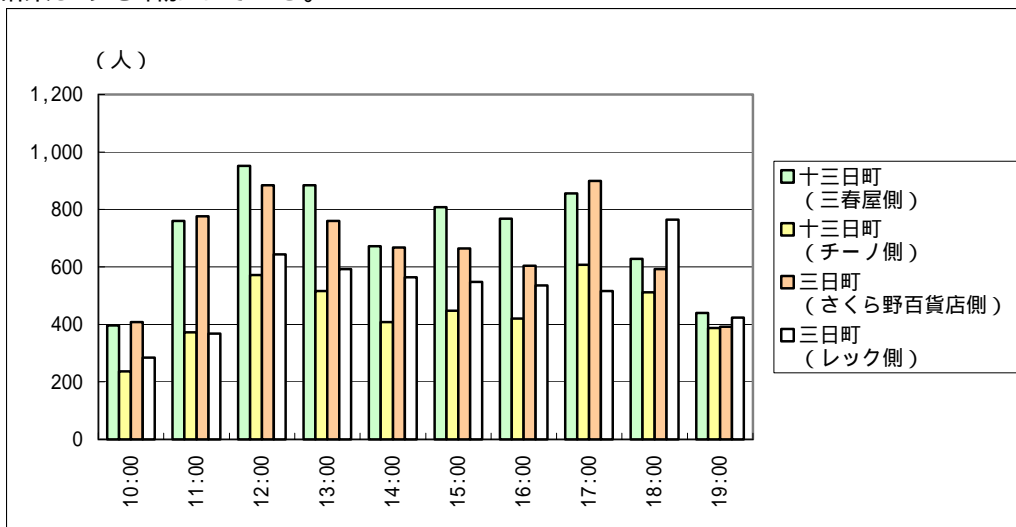
- ・9月28日は3車線の道路のうち、2車線を閉鎖し、真中1車線をバス、タクシー、荷捌き車両が通行できる規制とした。規制の時間はこれまでと変わらず11時～19時までとした。閉鎖した2車線にはテーブルとイスを並べオープンカフェとしてのしつらえを行った。
- ・天候は晴れであったが、少し肌寒い気温となった。
- ・十三日町の三春屋側では、12時台から16時台まで交通量が比較的多くなっており、16時台がこの日のピークとなり、約800人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約6500人となっている。
- ・十三日町のチーノ側では、18時台がこの日のピークとなっており、約600人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約4600人となっている。
- ・三日町のさくら野百貨店側では、昼前から16時台にかけ交通量が多く、12時台がこの日のピークとなっており、約800人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約6300人となっている。
- ・三日町のレック側では、18時台がこの日のピークとなっており、約650人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約5000人となっている。
- ・平常時の調査と比較してみると、三日町のさくら野百貨店側を除き、歩行者交通量が減少している。また、過去の歩行者交通量と比較してみると、十三日町の三春屋側を除いて平成16年の結果よりも増加している。



実験3 - 2 (調査実施日: 9月29日)

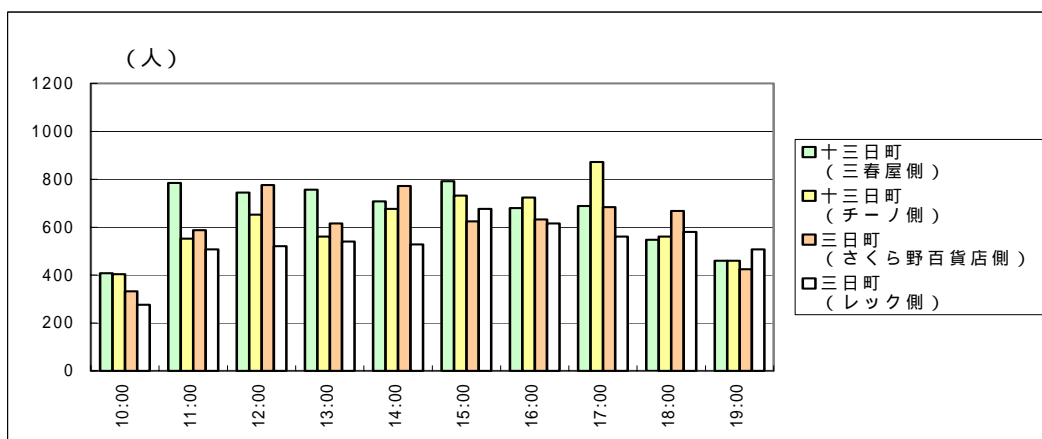
- ・9月29日は3車線の道路のうち、2車線を閉鎖し、真中1車線をバスのみが通行できる規制とした。規制の時間はこれまでと変わらず11時～19時までとした。閉鎖した2車線にはテーブルとイスを並べオープンカフェとしてのしつらえを行った。
- ・天候は晴れで、比較的暖かい気温となった。
- ・十三日町の三春屋側では、11時台から17時台にわたり交通量が比較的多く、12時台がこの日のピークとなり、約950人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約7200人となっている。
- ・十三日町のチーノ側では、17時台がこの日のピークとなっており、約600人の交通量が発生している。また、全10時間の交通量は約4500人となっている。

- ・三日町のさくら野百貨店側では、11時台から17時台にわたり交通量が比較的多く、17時台がこの日のピークとなり、約900人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約6600人となっている。
- ・三日町のレック側では、18時台がこの日のピークとなっており、約760人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約5200人となっている。
- ・平常時の調査と比較してみると、十三日町の三春屋側、三日町のさくら野百貨店側で交通量が増加している。また、過去の歩行者交通量と比較してみると、4地点すべてで平成16年の結果よりも増加している。



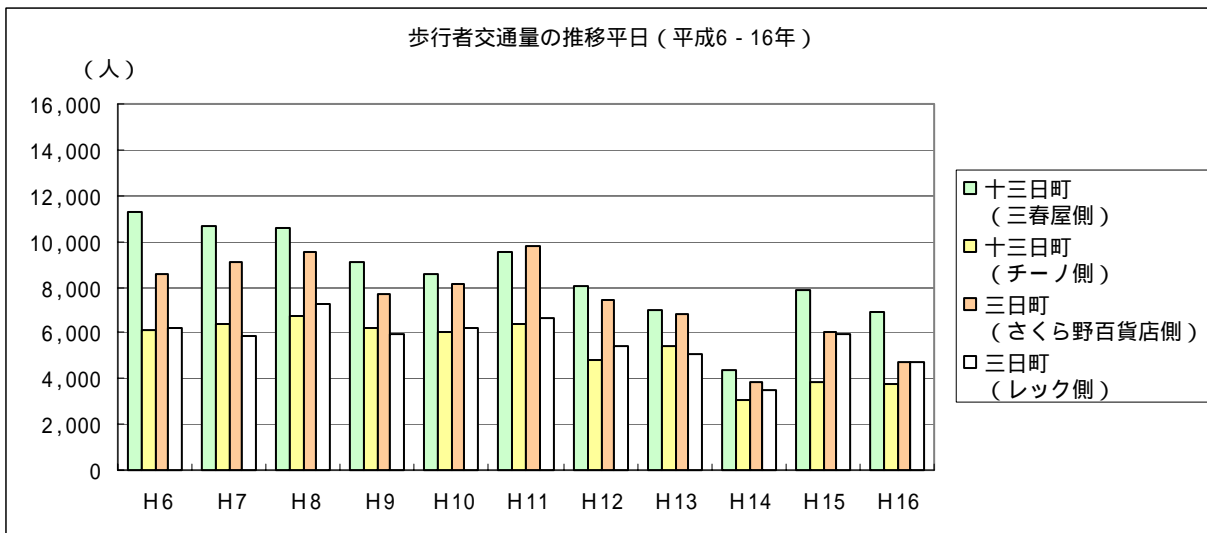
平常時 (調査実施日: 10月19日)

- ・10月19日は、実験期間中のデータと比較するために平常時の調査として普段の状況における歩行者交通量を計測した。
- ・天候は曇りから晴れで、比較的肌寒い気温となった。
- ・十三日町の三春屋側では、15時台がこの日のピークとなっており、約800人の交通量が発生している。また、全10時間の交通量は約6500人となっている。
- ・十三日町のチーノ側では、17時台がこの日のピークとなっており、約870人の交通量が発生している。また、全10時間の交通量は約6200人となっている。
- ・三日町のさくら野百貨店側では、12時台がこの日のピークとなっており、約780人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約6100人となっている。
- ・三日町のレック側では、15時台がこの日のピークとなっており、約680人の交通量が発生した。また、全10時間の交通量は約5300人となっている。

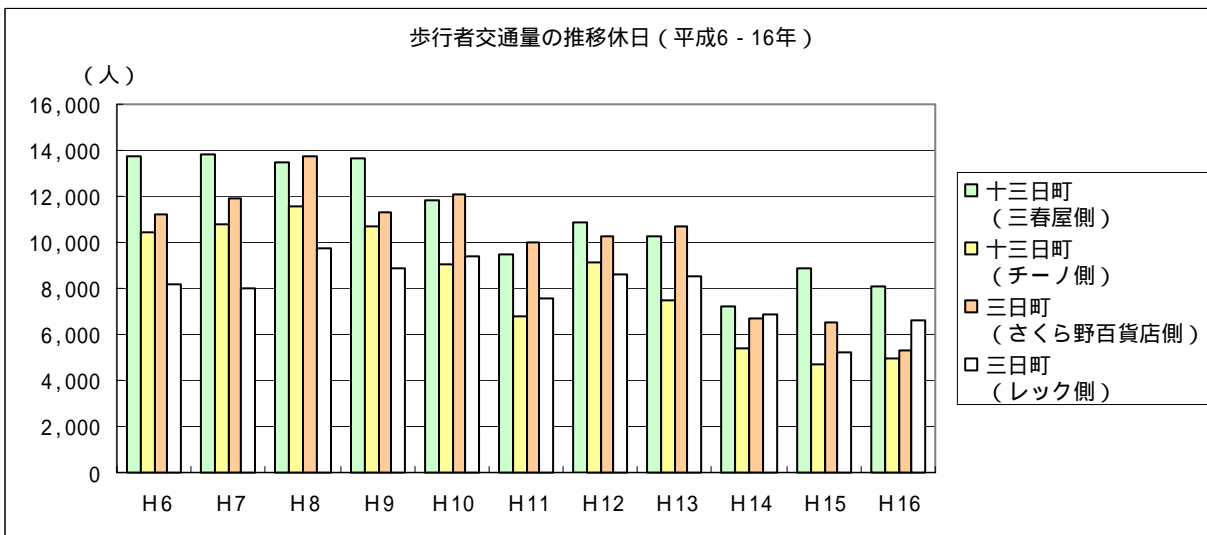


<参考：過去の歩行者交通量>

- ・平成6年から16年の平日の歩行者交通量の推移を見てみると平成8年頃までは十三日町で1日1万人を超える歩行者交通量が発生していたが、その後1万人を割り込み、ここ数年は十三日町の三春屋側で7~8千人程度、その他は4千人程度となっている。



- ・休日の交通量は常に減少傾向であり、平成13年までは十三日町、三日町共に1万人を超えていたものが、平成14年以降は1万人を割り込むこととなった。ここ数年では十三日町の三春屋側で8千人程度、その他で5~6千人程度となっている。



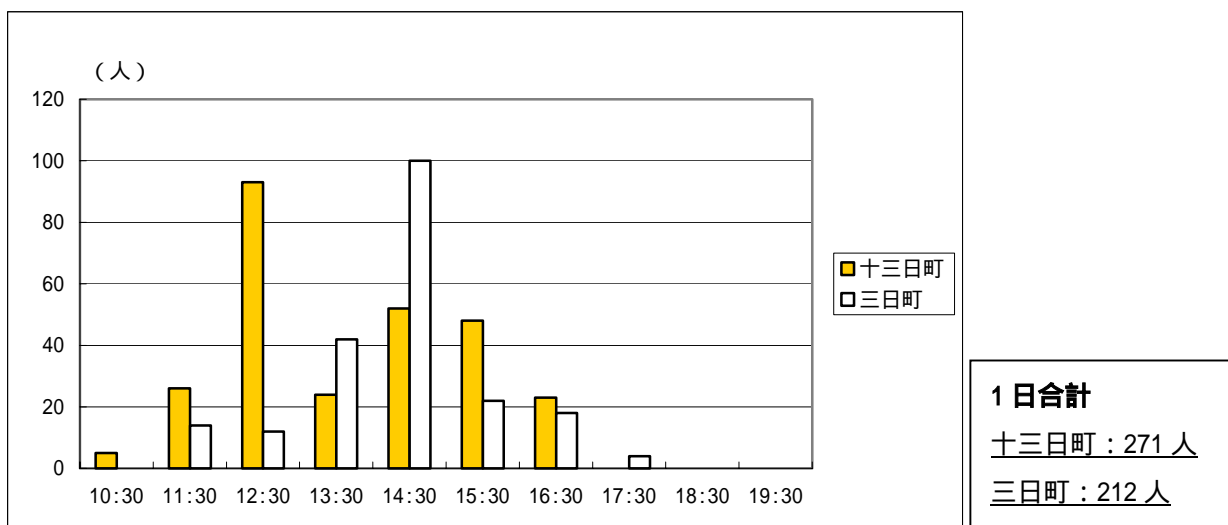
\* 交通量調査のポイントは全部で8ヶ所（十三日町三春屋側2ヶ所、チーノ側2ヶ所、三日町さくら野百貨店側2ヶ所、レック側2ヶ所）であったが、今回の調査と比較するため、十三日町三春屋側、チーノ側、三日町さくら野百貨店側、レック側それぞれで2ヶ所の平均を算出した

\* 調査時間は9時から19時までの10時間

## 2) 座っている人の数

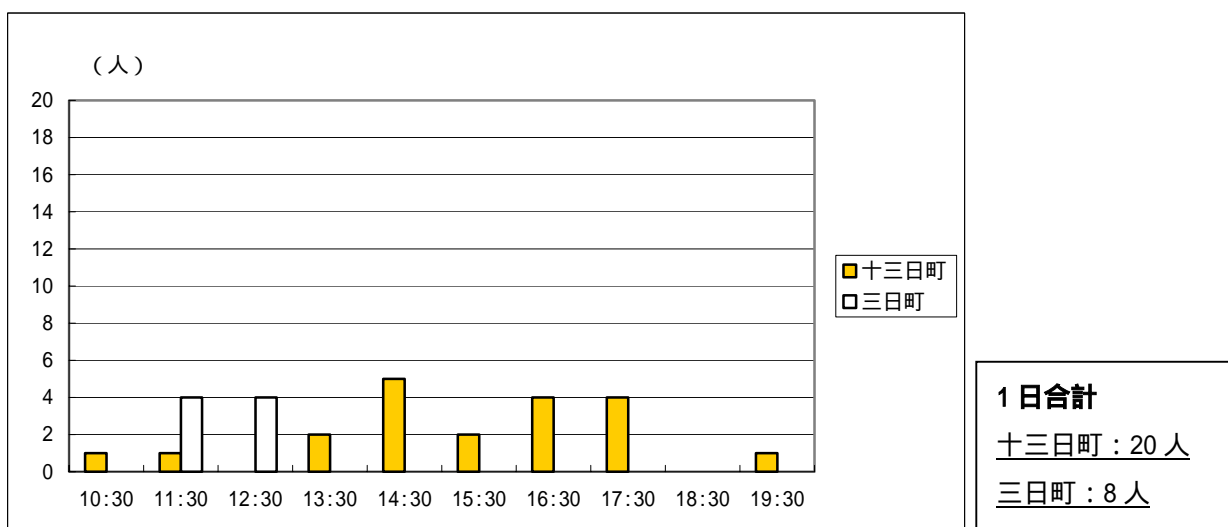
### 実験1 (調査実施日: 9月25日)

- ・9月25日はイベントを開催したため、多くの人々がイスを利用した。十三日町では、98個のスペースがあり、12時台では、ほぼすべてのイスが利用されている状況となった。また、その他の時間では14時台、15時台でほぼ半分のイスが使われている。三日町では、80個のスペースがあり、14時台にはそれを超える100人の人々が座っている。これは、路上に腰掛けられている人が居たと思われる。また、その他の時間では13時台でほぼ半分のイスが使われていた。
- ・今回の調査では継続して観察していないため、実際はさらに利用率が上がっていると考えられるが、25日では、ほぼイスが3回転利用されていることになる。



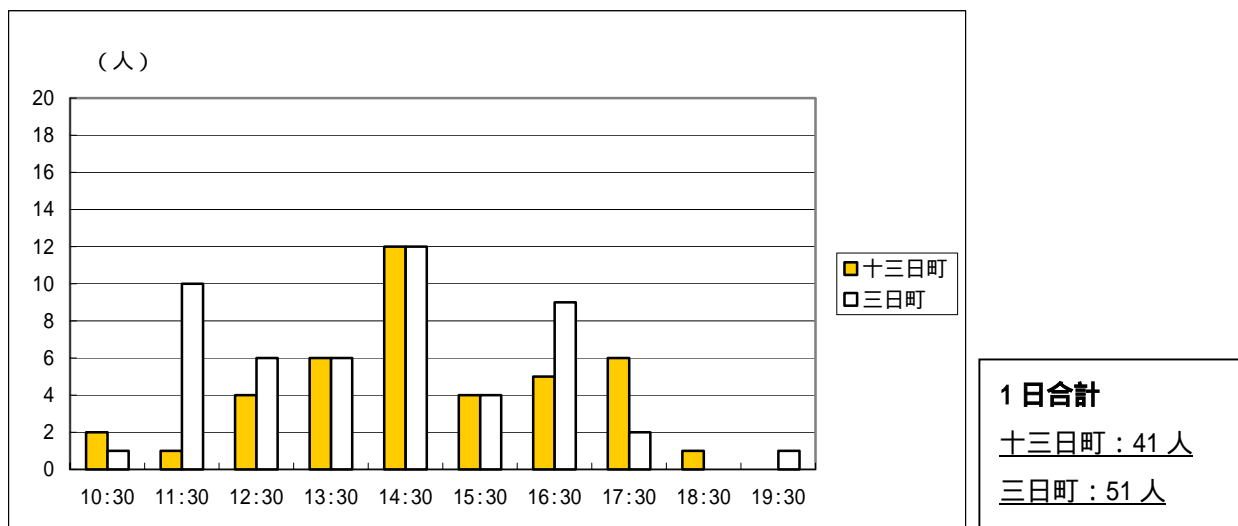
### 実験2 (調査実施日: 9月26日)

- ・9月26日は1車線削除した車線にイス、テーブルを並べたが、交通の状況は普段とそれほど変わらず、また、オープンカフェに慣れていないということからも利用者が非常に少なかった。十三日町では1日の利用者が20人で三日町では8人となっている。特に三日町では昼以降、利用者はまったく居なかった。



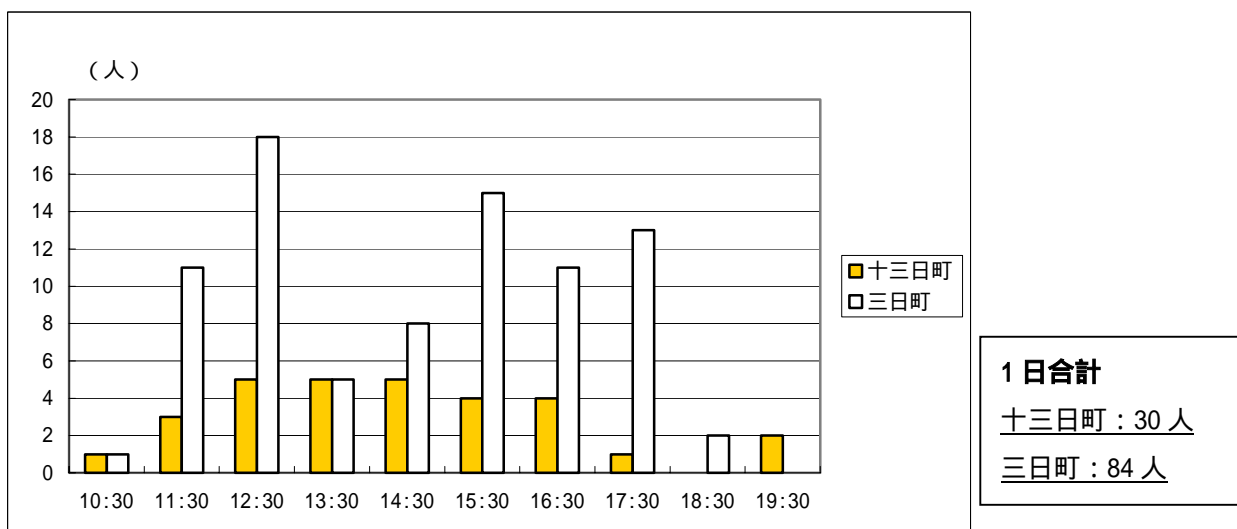
実験 3 - 1 (調査実施日 : 9月 28 日)

- ・9月28日はセミトランジットモールとして通常よりも交通量が少なく、また、道路の両側にオープンカフェが設置されたことから、26日の調査に比べ利用している人々が増加した。十三日町では、ほぼすべての時間帯で座っている人が居り、14時台がピークで12人の人が座っている。三日町でもほぼすべての時間帯で座っている人が居り、同じく14時台の12人がピークとなっている。
- ・また、これも継続観察ではないためあくまでも目安であるが、1日で見ると、ほぼ0.5回転の利用ということになる。



実験 3 - 2 (調査実施日 : 9月 29 日)

- ・9月29日はフルトランジットモールとしてバス以外は通行しないため、通常よりかなりの交通量が削減され、オープンカフェが設置されてから4日目ということもありそれまでの実験期間に比べ、座っている人の数が増加した。
- ・十三日町では、ほぼすべての時間帯で座っている人がおり、昼から夕方時間帯にかけては4~5人の利用があった。三日町では10人を超える時間帯が多く12時台の18人がピークとなっている。
- ・目安として1日トータルで見た利用の状況を見てみると十三日町ではセミトランジットモール時に比べ利用が減っているが、三日町ではほぼ1回転利用されるということとなった。



平常時（調査実施日：10月19日）

- ・10月19日は平常時であるため、歩道に置かれたベンチや沿道建物のセットバック空間に置かれたベンチに座っている人を計測した。
- ・十三日町では、ほぼすべての時間帯で座っている人がおり、昼から夕方にかけては4~6人の利用があった。三日町では座っている人は少なく、13時台に4人が座っている以外は1人や座っていない時間帯が多かった。

